

⑨行政・公務員による差別事件

二〇一〇年一〇月一四日、高知市九月議会で、竹内ちか子議員が高知市役所内で起こった差別事件を提起した。二〇一〇年七月二二日、健康福祉部所管の部署で、冷蔵庫の中の賞味期限が切れている食品をめぐって、A職員が「私はエタ腹やき大丈夫」と発言。それを聞いたB職員が確認すると、再度Aさんは「私はエタ腹やき」と発言したという出来事があった。Bさんは「エタ腹」は差別発言であることを指摘した上で、上司に報告し、指導してくれるよう頼んだ。Aさんは発言を認めており、「エタ腹」については子供の頃、親が言っていたとのことで、「エタ腹」という言葉が、部落の人を卑しめる言葉であり、差別につながることは認識もせず、使っていた。健康福祉部では、この出来事をきっかけに介護保険課・生活福祉課の職員を対象に、四回に分けて職員研修がおこなわれたが、「エタ腹」と言う発言を、勇気を持って指摘した職員がいなかったなら、この件は不問に付されたであろうと指摘した。